

平成24年6月1日

守谷市議会議長 松丸 修久 様

陳情者 住所 茨城県守谷市松ヶ丘1-13-8
氏名 沖本 佳人 他281名

守谷市上下水道料金引き下げを求める陳情書

【陳情の趣旨】

- 1 保有資金47億円と毎年の黒字を市民に還元し、上下水道料金を引き下げてください。

【陳情の理由】

守谷市の上下水道料金は高い。私たちが毎年行っている住民アンケート（2011年）において市民の方々の料金引き下げを求める声は大きく、86%の方々が引き下げを求めています。

- 1 守谷市の平成22年度水道会計は、上水道で1億9千万円、下水道で2億6千万円の実質保有資金を報告しています。
- 2 この保有資金は、減価償却費として上水道の2億1千万円、下水道の3億6千万円を営業費用として出費し、さらに上下水道建設改良費（上下ともに資本的支出）の不足分を補っても黒字会計であることを示しています。
- 3 減価償却に関係する法定耐用年数は建物50年、施設40-50年、水道管40年、下水道管50年、ポンプ・電気設備10-20年（平成23年第2回守谷市上下水道事業審議会会議資料）とされ、毎年計上されている営業費用のなかの減価償却費は金利も含めた返還費用として計上されていると見なければなりません。
- 4 直近の3年間（20、21、22年度）の上下水道の保有資金は10億円を超え、守谷市は、現在上水道会計で17億円、下水道会計で30億円、総額47億円の保有資金を有しています。上下水道事業では、毎年4億円の実質保有資金が生まれることは確実です。
- 5 企業会計法第3条は、黒字は「公共の福祉増進をはかる」目的に使用することを厳しく定めています。したがってこれらの保有資金は守谷市の上下水道料金引き下げに充て、市民に還元していただきたい。

上記の通り陳情いたします。